

三陸沿岸道路（高田道路）の開通後の 交通状況、効果についてお知らせします ～ 並行市道から大型車が約7割減少 ～

東日本大震災からの復興に向けたリーディングプロジェクトとして三陸沿岸道路、釜石花巻道路の整備を進めています。
このたび、高田道路（開通1ヶ月後）の交通状況及び効果について、取りまとめましたのでお知らせします。

高田道路開通後交通状況（平成26年3月23日開通）（別紙参照）

- ◎並行道路（市道）の交通量が半減、大型車は約7割減少し、生活道路の安全性が向上
- ◎陸前高田市から大船渡病院への救急搬送は全て高田道路を利用し、搬送時間が短縮

	総交通量			大型車交通量		
	開通前	開通後	摘要	開通前	開通後	摘要
高田道路 (陸前高田～通岡)	－ 台/日	5,600 台/日		－ 台/日	1,000 台/日	
国道45号	11,400 台/日	8,300 台/日	約3割減少	2,700 台/日	1,900 台/日	約3割減少
市道	3,800 台/日	2,000 台/日	半減	300 台/日	100 台/日	約7割減少
合計	15,200 台/日	16,100 台/日		3,000 台/日	3,000 台/日	

※交通量調査（午前7時～翌午前7時(24時間)） 開通前 H26. 3. 12(水)、開通後 H26. 4. 16(水)

【発表記者會】

岩手県政記者クラブ、釜石記者クラブ、宮古記者クラブ、大船渡記者クラブ、東北専門記者会

問 い 合 わ せ 先

国土交通省 南三陸国道事務所

〒026-0301 釜石市鶴住居町第7地割13-7（代表）電話：0193-28-4731

副 所 長 山口 満（内線204）

調査・品質確保課長 高橋 朋昭（内線411）

南三陸国道事務所のホームページ <http://www.thr.mlit.go.jp/minamisanriku/index.html>

【開通1ヶ月後】三陸沿岸道路 高田道路

りくぜん たかた かよおか

陸前高田IC～通岡ICが開通して

(平成26年3月23日開通)

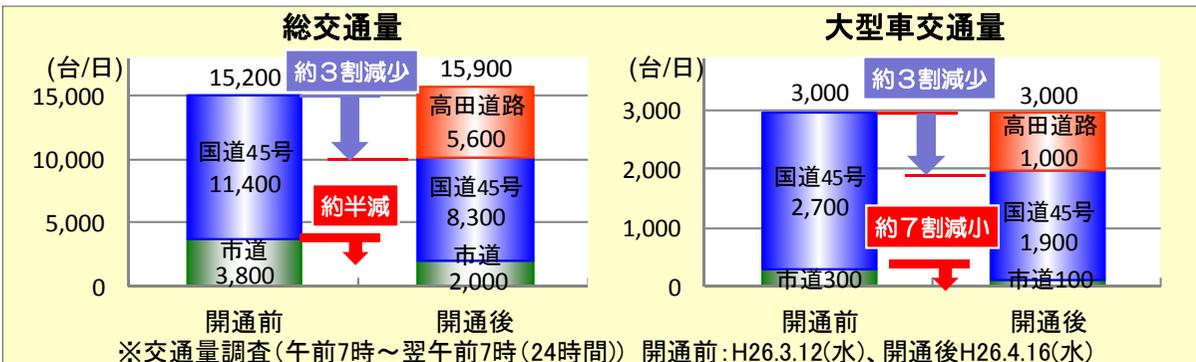
①並行市道の交通量が半減、大型車は約7割減少、生活道路の安全性が向上

②陸前高田市から大船渡病院への救急搬送は全て高田道路を利用し、搬送時間が短縮



①並行市道の交通量が半減、大型車は約7割減少

- 並行道路の総交通量及び大型車交通量が3割減少
- 生活道路の並行市道では、総交通量が半減、大型車両が約7割減少



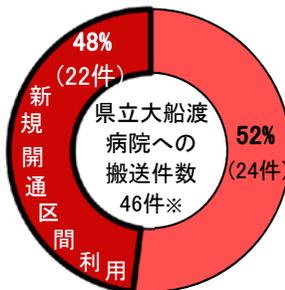
● 市道の交通量が減少し、スムーズに走行可能

- 高田道路開通後、市道の交通量が大幅に減少したことを感じている。特に大型車両が少なくなった。

※高田タクシー有会社ヒアリング(H26.5)より

②陸前高田市から県立大船渡病院への救急搬送は、高田道路を100%利用。約半数は新規開通区間で時間が短縮

『開通後の陸前高田市から県立大船渡病院までの搬送状況』



- 凡例
- 高田道路(通岡ICから利用した搬送)
- 高田道路(開通した陸前高田ICから利用した搬送)

※陸前高田市消防本部救急搬送実績より
(H26.3.23～H26.4.30 陸前高田市から県立大船渡病院への搬送件数 N=46件中)

● 搬送時の速達性、安全性の向上

- 陸前高田市の横田、矢作、竹駒地区から県立大船渡病院への救急搬送は、高田道路の全線開通前は一部国道45号を利用していたが、全線開通で5分ほど時間短縮された。
- カーブ、アップダウンが少なく走りやすく患者、付添人の負担も軽減されている。

※陸前高田市消防本部ヒアリング(H26.4)より

① 市道(開通前)



② 市道(開通後)

